

報告事項 エ

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について、別紙のとおり報告します。

令和6年9月11日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について

令和6年9月11日 小中学校課、高等学校課

児童生徒の英語学習への意欲の向上と、英語によるコミュニケーション能力向上のため、児童生徒がネイティブスピーカーと実際に英語を使ってコミュニケーションを取る場の創出として、以下のイベントを開催しましたので、報告します。

- ・小学生対象：小学生のための1DAYイングリッシュ
- ・中学生及び高校生対象：Tottori English Challenge Program 2024

1 小学生のための1DAYイングリッシュ

(1) 目的

ネイティブスピーカー等とともに、英語を使いながら様々な活動に取り組むことで、英語によるコミュニケーションの楽しさを感じ、英語学習への意欲の向上を図る。

(2) 会場、開催日時及び参加対象等 (参加人数合計：児童90名、保護者34名)

	会場	開催日 ※午前10時から午後4時まで	参加対象	当日参加者数
東部	鳥取県東部庁舎	令和6年8月6日(火)	小学5、6年生	26名
		令和6年8月7日(水)	小学3、4年生と保護者	22名(親子11組)
中部	伯耆しあわせの郷	令和6年8月17日(土)	小学5、6年生	10名
		令和6年8月18日(日)	小学3、4年生と保護者	24名(親子12組)
西部	鳥取県立大山青年の家	令和6年8月1日(木)	小学5、6年生	19名
		令和6年8月2日(金)	小学3、4年生と保護者	23名(親子11組)

※各会場の定員は30名。(小学5、6年生は、児童30名。小学3、4年生と保護者は親子15組。)

※全ての会場において、3、4年生親子対象の開催日で定員を超える参加希望があったため、抽選により参加者を決定した。いずれの会場も30名(親子15組)が参加予定であったが、当日欠席があったことにより、実際は上記の参加者数となった。

(3) 活動内容

外国人講師(6名~8名)や他の参加者とともに、「ALTの先生と一緒に世界を体験しよう!」をテーマに、英語を使って、様々な活動に取り組んだ。

<主な活動>

- ①自己紹介
- ②5つの異なる国のブースを設け、グループごとで、その国にちなんだゲームやクイズ等に取り組む体験活動

(例) French Art Gallery : 色や形を表す英語の表現を使って、イラストを完成させるゲーム

Italian Pizza : 好きな具材を英語で注文し、ピザを完成させるロールプレイ

Philippine Jeopardy Quiz : フィリピンや他国の文化についての質問に英語で答えるクイズ

- ③外国人講師による、諸外国(アメリカ、イギリス、カメルーン、フィリピン、バングラディッシュ、オーストラリア、南スーダン)についての紹介



(自己紹介)



(体験活動)



(諸外国紹介)



(修了書授与)

(4) 成果と課題及び今後の取組

(成果)

- ・参加児童及び保護者の満足度が非常に高かった。
「イベントが楽しかった」と回答した児童の割合：95%
イベントへの満足度について、肯定的回答をした保護者の割合：100%
※参加者の感想については、「(5) 参加者感想 (一部)」に記載

- ・児童生徒向けの英語を使ったイベントを多数企画運営した実績のある業者に委託したことで、児童が、ALTや他の参加者とともに、楽しみながら英語を使うことができる等、ニーズに沿った質の高い活動を行うことができた。

(課題)

- ・中部・西部地区会場の小学5・6年生対象の開催日において、定員を下回っていることから参加者の確保が課題となっている。特に中部地区会場では昨年度に引き続き、参加希望者が定員を大きく下回った。→小学5、6年生の児童は、スポーツや習い事等、学校外で様々な活動に取り組んでいることがあり、日程調整が難しかったことや、西部地区会場については、平日開催にしたことで保護者による送迎が難しかったことが考えられる。また、東部地区、西部地区と比べると中部地区は児童数が少なく、他地区と同規模の定員を満たすことは難しいと考える。

(今後の取組)

- ・参加者の確保に向け、利便性のよい会場や、地域ごとの実施回数、実施日、時間帯など児童がより参加しやすい方法を検討していく。
- ・学校へのチラシ配布のみではなく、県のホームページ等でイベントの写真や参加者の感想を掲載するとともに、県主催の研修会等の場を活用してイベントの様子を動画で流すなど、広く周知を図っていく。

(5) 参加者感想 (一部)

- ・外国の人ともっと仲良くなりたいので、そのためにもっと英語を話せるようになりたいと思いました。(小学3年生児童)
- ・最初は友だちもいなくて恥ずかしかったけど、話せて仲良くなれました。英語がもっと好きになりました。(小学4年生児童)
- ・外国にもっと興味が出て、その国に行ってみたいと思いました。外国語、楽しい！(小学5年生児童)
- ・このイベントを通して、英語を話すことの楽しさが分かりました。実生活にも使えそうな英語がたくさんあったので、使ってみたいです。(小学6年生児童)
- ・それぞれの国の紹介などがあり、知らないことも多くとても興味深かったです。道具なども工夫されていたので、子どもが楽しく参加できました。英語が苦手と言っていたが、直接英語に触れることができ、興味がわいたと言っていてよかったです。(保護者)
- ・子どもよりも大人の方が英語に触れる機会が少ないと思うので、親子で参加でき、とてもありがたかったです。また来年も参加したいです。(保護者)

(6) その他

- ・外部委託事業として実施 (委託業者：株式会社インタラック西日本)
- ・委託業者から派遣された外国人講師以外に、県内ALTのべ7名が当日の運営に協力
- ・参加費無料

2 Tottori English Challenge Program 2024 (中学生及び高校生対象)

(1) 目的

3日間にわたり目的別のレッスンを受講し、外部ネイティブ講師や外国語指導助手 (ALT) 等のネイティブスピーカーの支援を受けて、英語のスピーキング力を高める。

(2) 会場及び開催日時

会場：鳥取県立倉吉体育文化会館

日時：令和6年8月10日 (土)、11日 (日)、12日 (月) ※午前10時から午後3時45分まで

(3) 参加者数 (人) ※参加希望者は全員参加

コース	中学生	高校生	合計
プレゼンテーション	11	0	11
ディベート		6	6
ディスカッション	0	10	10
ドラマ・スキット	13	8	21
合計	24	24	48

(4) 活動内容

4つのコース (プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、ドラマ・スキット) 別のグループに分かれて、3日間にわたってそれぞれのスキルを高め、最終日にコースごとで成果発表を行った。

<コースごとの主な活動>

- ①プレゼンテーション：
 - ・プレゼンテーションの基礎知識（大切なルール、良いプレゼンテーションの特徴、フレーズの練習）
 - ・プレゼンテーションの準備（テーマ決め、役割決め、アウトライン決め、スライド作成）
- ②ディベート：
 - ・ディベートの基礎知識（ディベートのルール、ディベートを行うことの意義、フレーズの練習）
 - ・ディベート技術の向上（ミニ・ディベート、ディベートルールに沿った練習）
- ③ディスカッション：
 - ・ディスカッションの基礎知識（ディスカッションを行う際の役割、ディスカッションをスムーズに行うポイント、フレーズの練習）
 - ・模擬国連（意見の伝え方と必要な情報の整理、交渉にあたっての疑問や質問の整理）
- ④ドラマ・スキット：
 - ・ドラマ・スキットの留意事項（ドラマ・スキットをスムーズに行うためのポイント、ドラマ・スキットの練習の仕方）
 - ・オリジナルドラマ・スキットの準備（スキットの人物になりきって演じる、語彙やフレーズの練習、オリジナルドラマの台本作成）



(プレゼンテーション)



(ディベート)



(ディスカッション)



(ドラマ・スキット)

(5) 成果と課題

(成果)

- ・プログラムへの満足度が高かった。
アンケート質問「全体として、この3日感のプログラムにどのくらい満足されましたか？」
→「とても満足」84% 「満足」16%
- アンケート質問「今後同様の短期集中型のプログラムがあった場合参加したいですか？」
→「ぜひ参加したい」71% 「できれば参加したい」27%
- ・英語力についての自己認識に変容がみられた。
アンケート質問「この3日間で英語力が向上したと感じますか？」
→「とてもそう思う」64% 「そう思う」34%
- ・英語学習への意欲が高まった。
アンケート質問「英語学習をより頑張ろうと思いましたか？」
→「とてもそう思う」84% 「そう思う」16%

(課題)

- ・参加者の学校に偏りが見られた。プログラムについて、市町（学校組合）教育委員会を通じて各学校に周知を図ったが、学校での生徒への情報提供の方法によっては、十分に周知されていなかったことが考えられる。
- ・開催地区以外の生徒にとって、3日間会場まで通うことに負担感がある。

(今後の取組)

- ・学校を通じた周知だけでなく、ホームページ等での情報提供を積極的に行う。
- ・開催地区の変更や開催地までの借上げバスによる送迎など、生徒が参加しやすい開催方法を検討する。

(6) 参加者感想（一部）

- ・英語を用いて実際にコミュニケーションを行う楽しさを感じました。（中学生）
- ・自分達で文章を考え、SDGsについてのスライドをつかって発表したことが印象に残りました。（中学生）
- ・沢山話せて楽しかったし、様々なことを学べたのでよかったです！（高校生）
- ・色々な議題でディベートできたことが楽しかった。色々な国籍のインストラクターと交流できて、興味深かったです。（高校生）

(7) その他

- ・外部委託として実施（委託業者：株式会社ボーダーリンク）
- ・県内ALTのべ23名が当日の運営に協力
- ・参加費無料